

原料費調整(スライド)制度に基づく 2026年11月のガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき、2026年11月検針分に適用されるガス料金単価を算定いたしました。その結果、調整単位料金は別紙の通りとなり、2026年10月検針分に比べ、1 m³当たり19.41円（45m³ジュール地区：消費税込み）の上昇となりました。

これにより、1か月に22 m³のガスをお使いになる標準家庭（45m³ジュール地区）で、2026年10月検針分に比べ、427円（消費税込み）お支払額が増加いたします。

原料費調整制度は、原料の価格変動に応じて毎月単位料金を見直す制度です。今回は、2026年6月～2026年8月の平均原料価格と基準平均原料価格とを比較して、単位料金の見直しを行ったものです。

2026年11月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社・指定店等の店頭での掲示や、10月の検針時に「ガスご使用量のお知らせ」（検針票）であらかじめお客さまにお知らせいたします。

なお、2026年8月検針分より、政府の支援額に応じた値引きを実施しておりましたが、2026年11月検針分は、政府による値引きが終了しております。

（参考）値引き単価

- ・ 2026年8月・10月検針分：1 m³当たり14円
- ・ 2026年9月検針分：1 m³当たり18円

(別紙)

1. 平均原料価格の変動と単位料金の調整額

一般ガス供給約款第19条に伴う基準単位料金の原料費調整を下記の通り行います。

(1) 調整対象月 2026年11月

(2) 原料価格変動額

①基準平均原料価格 53,280円

②平均原料価格(2026年6月から2026年8月までの実績)

LNG(貿易統計値)	106,660 円	×	0.9622	+	
ブタン(貿易統計値)	137,270 円	×	0.0389	+	(10円未満四捨五入)
プロパン(貿易統計値)	117,090 円	×	0.0026	=	① 108,270 円

③原料価格変動額

原料価格変動額 = ① 108,270 円 - 53,280 円 = ② 54,900 円
(100円未満切捨て)

(3) 単位料金の調整

①調整額の算定(消費税込み)

a. 45メガジュール地区

調整額 = 0.082 × ② 54,900 ÷ 100 × 1.10 = ③ 49.51 円

b. 100.4652メガジュール地区

調整額 = 0.185 × ② 54,900 ÷ 100 × 1.10 = ④ 111.72 円

2. 標準家庭における影響額(45メガジュール地区)

1か月の ご使用量		2026年11月 適用料金	2026年10月 適用料金	増 減
22m ³	消費税込み	6,815 円	6,388 円	+ 427 円

注1) ガス料金の計算は、下記により行います(供給約款の例)。

※ガス料金(税込み) = 基本料金 + 調整単位料金(基準単位料金 + 単位料金調整額) × ガスご使用量
(円未満の端数切り捨て。)

注2) 標準家庭におけるガス料金は、ご家庭1件当たり平均使用量/月(2023年度~2025年度の3か年平均)に基づき算定しています。

3. 2026年11月 適用料金（供給約款料金）

(1) 45カジュール地区
2026年10月検針分適用の1立方メートル当たり単位料金に対し、19.41円
加算して料金を算定いたします。 (円/月)

料金表（1か月ご使用量）	基本料金 （1か月当たり）	調整単位料金（1㎡当たり）	
		2026年11月	2026年10月※
料金表A（0㎡から10㎡まで）	1,117.60	261.97	242.56
料金表B（10㎡を超え25㎡まで）	1,174.80	256.38	236.97
料金表C（25㎡を超え102㎡まで）	1,562.00	241.24	221.83
料金表D（102㎡を超える場合）	1,826.00	238.66	219.25

(2) 100.4652カジュール熊野地区
2026年10月検針分適用の1立方メートル当たり単位料金に対し、26.21円
加算して料金を算定いたします。 (円/月)

料金表（1か月ご使用量）	基本料金 （1か月当たり）	調整単位料金（1㎡当たり）	
		2026年11月	2026年10月※
料金表A（0㎡から4㎡まで）	1,117.60	539.17	512.96
料金表B（4㎡を超え11㎡まで）	1,174.80	524.87	498.66
料金表C（11㎡を超え45㎡まで）	1,562.00	489.67	463.46
料金表D（45㎡を超える場合）	1,826.00	483.80	457.59

(3) 100.4652カジュール可部地区
2026年10月検針分適用の1立方メートル当たり単位料金に対し、26.21円
加算して料金を算定いたします。 (円/月)

料金表（1か月ご使用量）	基本料金 （1か月当たり）	調整単位料金（1㎡当たり）	
		2026年11月	2026年10月※
料金表A（0㎡から4㎡まで）	1,117.60	564.47	538.26
料金表B（4㎡を超え11㎡まで）	1,174.80	550.17	523.96
料金表C（11㎡を超え45㎡まで）	1,562.00	514.97	488.76
料金表D（45㎡を超える場合）	1,826.00	509.10	482.89

※2026年8月検針分より、政府の支援額に応じた値引きを実施しておりましたが、
2026年11月検針分は、政府による値引きが終了しております。

（参考）値引き単価

- ・ 2026年8月・10月検針分：1㎡当たり14円
- ・ 2026年9月検針分：1㎡当たり18円

(参考)

「原料費調整（スライド）制度」の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格に対応して、1 か月ごとに単位料金（1 m³当たり単価）を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格（53,280円／t）」と「平均原料価格（3 か月毎のLNG、LPGの輸入価格等により算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動 100円につきガス 1 m³当たり 0.082円（45℃ジュール地区の場合）の単位料金が調整されます。
- 原料価格の変動については、LNG・LPGとも貿易統計実績によります。

なお、2026年8月検針分より、政府の支援額に応じた値引きを実施しておりましたが、2026年11月検針分は、政府による値引きが終了しております。

（参考）値引き単価

- ・ 2026年8月・10月検針分：1m³当たり14円
- ・ 2026年9月検針分：1m³当たり18円

以 上